

平成 26 年度医療費分析結果 概要

医療・特定健診の実態からみる島田市(国保)の健康課題

数値から見られる実態

医 療

- 被保険者数は減少傾向、65 歳以上の高齢者は増加傾向
 - ☛高齢化が費用額増加の一因となっている
- 全体的には受診率が高い傾向
 - ☛入院外及び調剤の受診率の高水準が要因
 - ☛1 件当たり費用額は県内 33 位/35 市町と低いため全体的な重症化の傾向は低い
- 費用額の高い疾病は腎機能疾患、癌、精神疾患、高血圧関係疾患
 - ☛いずれの疾病も受診率の高水準が要因
 - ☛精神疾患、癌は入院、腎機能疾患、高血圧関係疾患は入院外が高い
 - ☛年齢階層別では 50 代、70 代の費用額が高い

特 定 健 診

- 腎機能と血圧関係の受診勧奨者の割合が高い
 - ☛糖尿病予備群 (HbA1c5.2~6.0) が特に割合が高い (高い順に県内 4 位)
 - ☛各検査項目とも受診勧奨者の割合は概ね増加傾向にある
- 受診勧奨者は 65~74 歳で増加傾向
 - ☛男性：65~69 歳、女性：65~74 歳で増加傾向
- 糖尿病患者の健診結果：軽~重度のいずれも 65 歳以上で重症化傾向
- 高血圧症患者の健診結果：軽度の 45~49 歳で重症化傾向
- リスク別の健診結果：リスクレベル 4 及び 3 (生活習慣病有) で受診勧奨者が多い
 - ☛HbA1c はリスクレベルが低い区分で軽・中度の該当者が増加傾向
 - ☛血圧は軽~重度の受診勧奨者はほぼ横ばい

健 康 課 題

- 医療費の適正化には受診率の改善が必要
 - ☛重複・頻回受診者の指導、ジェネリック医薬品普及啓発等の対策が効果的
- 費用額の高い疾病の重症化予防対策が必要
 - ☛糖尿病、高血圧症は重症化により合併症を併発し医療費が急増するため重症化予防対策が効果的、生活習慣病の早期発見のための特定健診の受診が効果的
 - ☛精神疾患は予防対策 (他の健康保険との連携など) が効果的
- 保健指導では個別検査結果の程度に応じたきめ細かな指導が必要